



第 1636 回例会

平成 22 年 11 月 8 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介
4. 出席報告
会員総数 68 名 出席者数 48 名
出席率 70.59% 前回修正出席率 73.53%

5. 会長スピーチ

みなさん、今日は。
昨日は地区大会に参加ありがとうございました。ご苦労様です。
地区最大のイベント、今年は日程上、4月は田辺市、11月は堺市と、2度開催されました。次は1年おいて2012年春、和歌山市の予定です。(秋に開催 RI の希望) いずれの大会もホストクラブの一生懸命な姿には感動致します。

11月は財団月間です。中島治一郎 PG の月信 11月号の文章、ロータリー財団の過渡期、寄付は強制ではない。財団の寄付は、国際奉仕を実行する為のツール(偏見)だ、同感。未来の計画。CLP、RL 本部主導、官僚主義、アメリカイズム、そこに RC のまがり角、昨日の今井しづお RI 会長代理の話し。

大学駅伝で優勝した早稲田大学。また、同大学の野球部の斎藤佑樹君が「仲間、ライバル」について語っていました。そんな中、2640 地区では「ギクシャク」しています。変なメールも届きます。2640 地区は世界 120 万 RC からの笑われ者、国内 34 地区に恥をさらしています。嘆かわしいことです。各クラブは真剣に真摯に頑張っているのに残念なことです。

7月より 5ヶ月、原点に戻って頑張ります。先輩もしっかり激励してくれます。今後とも宜しくお願ひします。

会長 谷脇 良樹君



6. 幹事報告

幹事 上野山 雅也君
○例会臨時変更のお知らせ
和歌山城南 RC
11月 25 日 (木) → 11月 25 日 (木) 18:30~
あおい茶寮 (会員忘年例会)

7. 会員卓話

○ロータリー財団委員長会議報告
財団委員長 山名 正一 君

昨日、国際ロータリー 2640 地区の地区大会に参加してまいりました。日本で 2 人目、とりわけ 2640 地区では始めての女性ガバナーの下での地区大会ということで期待と興味を持って参加してまいりました。素晴らしい地区大会でございました。



例年、地区役員 1 人 1 人を紹介して無駄な時間を費やしていましたが、今回は簡略してスクリーンに名前を映し出し紹介を済ませていました。私だけでなく、参加者の皆様にも好評だったと思います。米田ガバナーの挨拶、現状報告はスクリーンを使って理路整然とした話しぶりで地区的現況がよく理解できるものでした。記念講演では薬師寺館主の山田法胤さまの「歴史に学ぶ日本のこころ」というタイトルでの講話、面白おかしく、又格調のある話術で 1 時間半があつという間に過ぎ去りました。日本は二千年以上、親から子へ、子から孫へと、知らず知らずのうちに継承されてきた「日本のこころ」精神文化が平成の時代を迎え継承されない社会になろうとしている。将来に不安を感じている、と話されていました。この世に生を受け、お釧迦様の元へ行きつかれるまでの人生としての生き方、ロータリアンとしての生き方、本当に感銘を受けました。新しく入会された会員の皆様も、次年度は是非とも地区大会に参加され、雰囲気を味わっていただければ、ロータリーの素晴らしい、またロータリアンとしての自覚が尚一層深まると思います。次年度は参加しましょう。

さて、RI では毎年 11 月を「ロータリー財団月間」と定め、財団の趣旨を啓蒙宣伝するクラブプログラムを計画、実行するよう奨励しています。私もロータリ

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①眞実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：谷脇 良樹 幹事：上野山 雅也 SAA：三木 正博

一財団のことはハッキリ云つて分かりません。手続き要覧によりますと財団活動には「人道的プログラム」「教育的プログラム」「ポリオ・プラスプログラム」があります。各プログラムの詳細については時間の都合上省略しますが、一つの例を挙げますと、先日GSEとして来訪され韓国からの団員は教育的プログラムの「研究グループ交換」に入ります。

ロータリーの異なる国の扶二地区間で事業及び専門職務に携わる人物をお互いに交換し、4週間以上6週間以内の範囲で行うロータリー財団プログラム。Rの友 2007年11月によると、1965年に発足以来、全世界から参加チーム総数12,000チーム、日本から海外を訪問した数は390チームにのぼります。他の国民と諸施設及び事業研究、並びに国際理解と親善を深めることを目的としています。

団員構成

- ・ロータリアン（団長）以外の4名
- ・性別は不問
- ・団員は25歳から40歳
- ・チームリーダーの配偶者は同行できない。

財団がチームの往復旅費を支給し、ホスト地区がホームステイ費用等諸費用を負担します。以上、一例ですが、他にも「ポリオ・プラス全世界の児童に予防接種を」をテーマにポリオ撲滅のための財団プログラム等があり、これらのプログラムを実施するためにロータリー財団資金が充てられます。その為の資金としてRIでは強制的ではありませんが、全てのロータリアンに「Every Rotarian, Every Year 毎年あなたも100ドルを」を要請しています。

去る、9月11日（土）テクスピア大阪においてクラブ財団委員長会議に出席してまいりました。その折にロータリー財団寄付の地区目標額は一人当たり200ドルを、ベネファクターは、1クラブ当たり1名はお願いしますとの依頼がありました。なお、ポリオ・プラス寄付30ドルについて、当2640地区はチャレンジ追加分は完了していますが、寄付はいつでも受け付けています。その他、シェア・システムについての説明もありました。

なお、今までの財団プログラムは2013年7月1日より「未来の夢計画」という新しい補助金制度に移行される予定です。未来夢計画の補助金の種類は「新地区の補助金」「グローバル補助金」となります。2010年度～2013年までの3年間試験施行が実施されています。また、詳しい情報が入れば報告します。

（公式標語）

ロータリー財団 標語・・・世界でよいことをしよう
社会奉仕 標語・・・最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。超我の奉仕。

（奉仕の根本的な心理と理想を唱えたもの）

会員皆様、世界から貧困者がなくなるようロータリー活動に積極的に取り組みましょう。しかし、ロータリーだけでは限界があるように感じます。当時国々が貧困対策に努力しなければ永遠に解決しないと思います。

○米山奨学会について

米山委員長 山田 耕造 君



日頃は米山委員会の活動にご協力を賜り、誠にありがとうございます。先日の例会で委員会報告の形で、米山への寄付をおねがいさせていただきましたところですが、今日、横出委員長より、本日もう一度機会を与えていただきました。米山は日本に来て勉学に頑張っている外国の若者に対して奨学金を与えているということは、先日話をさせていただきました。米山の当クラブの割り当て目標額は1名20,000円×68名で1,360,000円になっております。クラブ会計より1名6,000円が充当されます。残りをクラブ会員の皆様にご協力をおねがいいたします。

本日、朝の段階で13名の皆様から貴重なご寄付をしていただいております。本当にありがとうございます。景気が低迷するなか、今日はロータリー財団月間と何かとの入りが多いこの季節でございますが、日本に来て頑張っている若者のため、また、先日も申し上げました海南東ロータリークラブに在籍しているという幸せの一部を米山にご協力をお願いします。一口、30,000円のご寄付をお願いいたしますが、金額にかかわらず、よろしくお願ひ致します。

8. 閉会点鐘

次回例会

第1636回例会 平成22年11月15日(月)

海南商工会議所 4F 12:30~

会員卓話・吉田 昌生さん



ニコニコ・BOX

平尾寧章君

4週間ぶりに出席致しました。体調が思わしくなかったのですが、だい分よくなってきました。

谷脇良樹君

地区大会で、RIの会長の晚餐会賑やかに行われました。ブラジルからの参加のサンバで楽しんできました。

三木正博君

地区大会スムーズに行きました。皆様のご協力のお蔭でありがとうございました。

寺下 卓君

地区大会、欠席してすみませんでした。出席の皆様ご苦労様でした。

山名正一君

2年振りに前でスピーチさせていただきます。

柳生享男君

昨日、地区大会でお世話になりました。異状なしです。